

施策評価(平成29年度)

1 基本項目

基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策	1	ともにつくる住みよい地域社会の実現
施策	16	防犯
基本方針		
行政、市民、事業者およびNPO法人などが連携した防犯体制の充実を図り、犯罪のないまちを目指します。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
特殊詐欺対策の強化	計画どおり完了	A	A	B	現状のまま継続
防犯、交通安全および火災予防の総合的な推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
街路灯の整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
防犯活動の支援と連携の強化	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

<p>施策16「防犯」では、4事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、すべて「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>有効性(成果)については、「特殊詐欺対策の強化」で、自動通話録音機の貸与台数が、計画数に届いていないことから、B(課題があり、今後改善が必要なもの)と評価している。</p> <p>これらを踏まえた結果、施策16「防犯」については、有効性(成果)で一部改善が必要な課題があるが、取組内容は順調に推移している。</p> <p>今後の方向性については、すべての事業で引き続き、「現状のまま継続」していくこととする。</p>

1.基本項目		作成部署	市民生活部			防災安全課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 特殊詐欺対策の強化		平成 27 年	継続	自治事務(市独自)	直営	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課	産業振興課					
基本目標	3 ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	16	防犯	重点事業No.	1

2.事業の概要

施策の基本方針	行政、市民、事業者およびNPO法人などが連携した防犯体制の充実を図り、犯罪のないまちを目指します。
事業内容	特殊詐欺等の犯人からの電話に対し、自動通話録音機を活用して被害を未然に防止します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市特殊詐欺対策における自動通話録音機貸与事業実施要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	自動通話録音機購入(300台) 自動通話録音機無償貸与開始平成28年度貸与台数78台(平成28年12月末現在)	自動通話録音機の無償貸与の実施 貸与台数目標 150台	自動通話録音機の無償貸与の実施 貸与台数目標 150台	自動通話録音機の無償貸与の実施 貸与台数目標 150台

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	480 H	1 人	520 H	1 人	560 H	1 人	600 H
主事・主任職	1 人	520 H	1 人	560 H	1 人	600 H	1 人	640 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	1,935	10	1,935	10
人件費(係長職)	2,388	2,587	2,786	2,985
人件費(主任・主事職)	1,768	1,904	2,040	2,176
総事業費(合計)	6,091	4,501	6,761	5,171
国庫支出金				
都支出金	1,925		1,925	
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	4,166	4,501	4,836	5,171
財源内訳(合計)	6,091	4,501	6,761	5,171

③コスト計算

ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 80 円
 イ 対象者 6,000 人における1人あたりのコストは、 750 円
 ウ 成果(物) 自動通話録音機 の 出来高 150 台 における1台 のコストは 30,007 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

特殊詐欺防止に向けて、高齢者が集まる会議やイベントに率先して出向き、チラシ等を配布するとともに、広報媒体などを活用し、自動通話録音機の設置促進に努めた。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	10		10	10	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	520H	1人	520H
主事・主任職	1人	560H	1人	560H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○自動通話録音機の無償貸与の実施 ○貸与台数目標 150台	○自動通話録音機の無償貸与の実施 ○貸与台数 104台

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	B

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

高齢者を狙った電話での悪質な振り込め詐欺防止策として、市内在住の65歳以上の方が居住する世帯で機器の設置を希望する世帯に貸与し、被害を未然に防止する。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

特殊詐欺等については、手口が年々巧妙になっていることから、犯罪を未然に防止できるよう新たな手口の情報や知識を警察や防犯協会など関係機関と連携・情報共有し、素早く市民に周知できるよう対策を講じる必要がある。また 自動通話録音機を貸与・設置した家には被害は出ていないことから、無償貸与の実施について、今後も警察や関係機関と連携しながら、継続的に周知をする必要がある。

【今後の取組方針】

特殊詐欺等については、手口が年々巧妙になっていることから、犯罪を未然に防止できるよう新たな手口の情報や知識を学び、素早く市民に周知できるよう対策を講じるとともに自動通話録音機の無償貸与の実施を継続し、被害を未然に防止する必要があると考える。

1.基本項目		作成部署	市民生活部			防災安全課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 防犯、交通安全および火災予防の総合的な推進		不明	年	継続	自治事務	直営
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	16	防犯	重点事業No. 2

2.事業の概要

施策の基本方針	行政、市民、事業者およびNPO法人などが連携した防犯体制の充実を図り、犯罪のないまちを目指します。
事業内容	市民生活の安全安心を確保するため、市民や各関係団体と連携し、防犯、交通安全および火災予防に関する取組みを総合的に推進します。
根拠法令	
条例	羽村市防犯、交通安全及び火災予防に関する条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	防犯、交通安全及び火災予防推進会議の開催 3回	同左3回 委員の改選 任期2年 推進計画(第四次)の策定(計画年度平成30年度~平成32年度)	同左3回	同左3回 委員の改選 任期2年

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	600H	1人	900H	1人	600H	1人	600H
主事・主任職	1人	480H	1人	720H	1人	480H	1人	480H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	194	202	202	202
人件費(係長職)	2,985	4,478	2,985	2,985
人件費(主任・主事職)	1,632	2,448	1,632	1,632
総事業費(合計)	4,811	7,128	4,819	4,819
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	4,811	7,128	4,819	4,819
財源内訳(合計)	4,811	7,128	4,819	4,819

③コスト計算

ア 市民	56,079	人における1人あたりのコストは、	127	円		
イ 対象者	56,079	人における1人あたりのコストは、	127	円		
ウ 成果(物)	推進会議	の 出来高	3 回	における1 回 のコストは	2,376,000	円

※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

誰もが安全で安心して暮らせる街づくりの実現に向けて、「第四次羽村市防犯、交通安全及び火災予防を推進計画」を作成した。
 防犯の推進では、市民主体による防犯パトロールの団体などに対して、防犯活動等の情報提供を行った。
 また、福生警察署と連携・協力しながら防犯キャンペーンにおいて、犯罪防止と犯罪被害に遭わないための知識の普及啓発活動に取り組む。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	202		202	99	49.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	900 H	1人	900 H
主事・主任職	1人	720 H	1人	720 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○防犯、交通安全及び火災予防推進会議の開催 3回 ○委員の改選 ○推進計画(第四次)の策定(計画年度平成30年度～平成32年度)	⇒ ○防犯、交通安全及び火災予防推進会議の開催 3回 ○委員の改選 ○推進計画(第四次)の策定(計画年度平成30年度～平成32年度)

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法)率性 <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果)効性 <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

防犯の推進の取組みについては、市民主体による防犯パトロールの団体などに対して、防犯活動等の情報提供を行う。また、福生警察署と連携・協力しながら防犯キャンペーンにおいて、犯罪防止と犯罪被害に遭わないための知識の普及啓発活動に取り組む。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

子どもや高齢者を狙った犯罪なども発生しており、市民による自主的な防犯活動がしやすい環境の整備や、行政、市民、事業者及びNPO法人などが一体となった防犯活動の強化に取り組む必要がある。

【今後の取組方針】

平成30年度～平成32年度を計画期間とする(第四次)「羽村市防犯、交通安全及び火災予防を推進する計画」に沿って福生警察署、福生消防署、その他関係機関との連携を緊密にし、防犯対策、交通安全対策、火災予防対策の推進に取り組んでいく。

1.基本項目		作成部署	都市建設部			土木課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 街路灯の整備			年			
01	街路照明施設改修工事(取替)	平成	26年	その他	自治事務(市独自) 業務委託(一部)	○
02	道路照明灯設置工事(新設)	不明	年	継続	自治事務(市独自) 業務委託(一部)	○
03	街路照明灯修繕(補修)	不明	年	継続	自治事務(市独自) 業務委託(一部)	○
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	16	防犯	重点事業No. 3

2.事業の概要

施策の基本方針	行政、市民、事業者およびNPO法人などが連携した防犯体制の充実を図り、犯罪のないまちを目指します。
事業内容	街路灯の計画的な点検・補修・整備により、犯罪発生を抑制します。また、新たな街路灯の設置について、検討します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	街路灯の取替、新設、補修	同左	同左	同左
	街路灯(LEDへの取替) 461基	同左 490基	同左 802基	大型街路灯(LED又はセラメタへの取替) 617基
	街路灯(LEDの新設) 5基	同左 5基	同左 5基	同左 5基

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	8H	2人	8H	2人	8H	2人	8H
主事・主任職	2人	450H	2人	450H	2人	450H	2人	450H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	50,482	50,800	79,000	73,000
人件費(係長職)	80	80	80	80
人件費(主任・主事職)	3,060	3,060	3,060	3,060
総事業費(合計)	53,622	53,940	82,140	76,140
国庫支出金				
都支出金	234	250	250	250
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金		15,000		
起債				
一般財源(人件費含む)	53,388	38,690	81,890	75,890
財源内訳(合計)	53,622	53,940	82,140	76,140

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	近年、資材の高騰や人手不足などが要因となり契約が不調となる事例が散見されることあり、工事については、早期設計、早期工事着手を基本として取り組むこと。

②活動実績

市民や防犯パトロール等からの連絡により、251件の街路灯修繕を実施するとともに、「道路照明灯施設における省エネルギー型機器導入に関する整備計画」に基づき、神明台3・4丁目、双葉町、羽西、羽加美1・2丁目の街路灯510基について、LED照明への取替を実施した。
また、市民等からの街路灯の設置要望のあった82箇所について、夜間調査を実施し、特に交通安全及び防犯上必要な箇所にLED照明を3基新設した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	50,800	▲ 588	50,212	50,114	99.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	8H	2人	8H
主事・主任職	2人	450H	2人	450H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○街路灯(LEDへの取替) 490基 ○街路灯(LEDの新設) 5基		○街路灯(LEDへの取替) 510基 ○街路灯(LEDの新設) 3基

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

「道路照明灯施設における省エネルギー型機器導入に関する整備計画」に基づき、街路灯のLED照明への取替え等を実施し、交通安全と防犯対策の上で、一定の効果を発揮していると考えている。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

LED照明への取替えは、計画に基づき実施しているが、今後発生する維持管理について平準化していくため、計画の変更を検討する。

【今後の取組方針】

街路灯の計画的な点検・整備を行い、歩行者・自転車及び自動車の夜間通行の安全・安心な道路利用と犯罪発生抑制を図る。

また、街路灯のLED化を実施し、整備計画に基づき維持管理経費と電気料の削減を図る。

1.基本項目		作成部署	市民生活部			防災安全課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 防犯活動の支援と連携の強化		不明	年 継続	自治事務	業務委託(白部)	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3 ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	16	防犯	重点事業No.	4

2.事業の概要

施策の基本方針	行政、市民、事業者およびNPO法人などが連携した防犯体制の充実を図り、犯罪のないまちを目指します。
事業内容	各種防犯関係団体が交代制で重点的にパトロールを実施する防犯週間(仮称)に取り組むとともに、市民パトロールなどの主体的な防犯活動を支援します。また、市民パトロールセンターを拠点に、各関係団体の活動が効率的に行えるよう連携の強化を図ります。
根拠法令	
条例	羽村市防犯、交通安全及び火災予防に関する条例
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	NPO法人市民パトロールセンターはむらによる、パトロールセンターの運営支援	同左	同左	同左
	防犯等関係団体連絡会の開催 年2回	同左 年2回	同左 年2回	同左 年2回
	年末防犯・交通安全・火災予防 パトロール週間の実施 年1回	同左 年1回	同左 年1回	同左 年1回

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	560H	1人	560H	1人	560H	1人	560H
主事・主任職	1人	440H	1人	440H	1人	440H	1人	440H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	9,609	10,498	9,798	9,798
人件費(係長職)	2,786	2,786	2,786	2,786
人件費(主任・主事職)	1,496	1,496	1,496	1,496
総事業費(合計)	13,891	14,780	14,080	14,080
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	13,891	14,780	14,080	14,080
財源内訳(合計)	13,891	14,780	14,080	14,080

③コスト計算

ア 市民 56,079 人における1人あたりのコストは、 264 円
 イ 対象者 56,079 人における1人あたりのコストは、 264 円
 ウ 成果(物) の 出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

NPO法人市民パトロールセンターはむらに対し、運営補助や自主財源の確保に向けて支援を行った。また、市民主体となる防犯協会羽村支部と連携し、防犯意識の向上に向けて、イベント会場での防犯啓発活動や金融機関での振り込め詐欺防止キャンペーンを実施した。また、防犯等関係団体連絡会の開催や年末防犯・交通安全・火災予防パトロール週間の実施を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	10,498	▲ 9	10,489	10,275	98.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	560 H	1人	560 H
主事・主任職	1人	440 H	1人	440 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○NPO法人市民パトロールセンターはむらによる、パトロールセンターの運営支援 ○防犯等関係団体連絡会の開催 年2回 ○年末防犯、交通安全、火災予防パトロール週間の実施 年1回	⇒ ○NPO法人市民パトロールセンターはむらによる、パトロールセンターの運営支援 ○防犯等関係団体連絡会の開催 年2回 ○年末防犯、交通安全、火災予防パトロール週間の実施 年1回

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

NPO法人市民パトロールセンターはむらに対し、運営補助や自主財源の確保に向けて支援。また、市民主体となる防犯協会羽村支部や防犯関係団体等と連携し、防犯意識の向上に向けて、イベント会場での防犯啓発活動や金融機関での振り込め詐欺防止キャンペーンを実施した。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

現在、犯罪などの手口が多様化している状況であるとともに犯罪に対する市民の関心・要望は高いことから、市民の防犯に対する意識の高揚を図り、犯罪が起こりにくい環境をつくる必要があるため、市、市民、事業者と協力・連携し、一丸となった防犯活動に向けた事業を実施していく必要がある。

【今後の取組方針】

NPO法人市民パトロールセンターはむらに対し、運営補助や自主財源の確保に向けた支援に取り組む。また、市民主体となる防犯協会羽村支部や防犯関係団体等と協力・連携し、一丸となった防犯活動に向けた事業を実施していく。